



日本高血圧協会

会報10号 平成24年3月15日

NPO法人日本高血圧協会
The Japanese Association of Hypertension
事務局：愛媛県東温市田窪2108-6
ホームページ：<http://www.ketsuatsu.net>
連絡先：TEL：03-6801-9786
FAX：03-6801-9787
e-mail：office@ketsuatsu.net

NPO法人 日本高血圧協会理事長 荒川規矩男

減塩で脳卒中を防ごう！

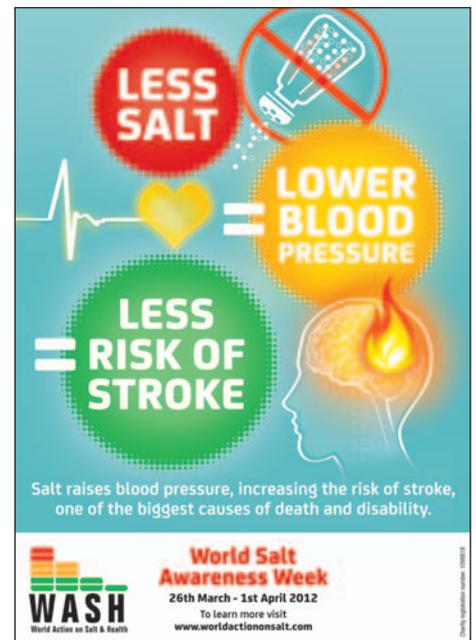
“減塩で脳卒中を防ごう！”と世界減塩週間（3月26日～4月1日）に呼びかけられています（図）。

食塩は血圧を上げ、血圧値に応じて全身の血管、特に脳・心臓・腎臓などの重要臓器の動脈を硬化させて血管内腔を狭くし、遂には詰まらせたり、破裂させたりして、脳卒中や心筋梗塞や慢性腎臓病などを引き起こしますが、中でも特に日本人は脳卒中を起こし易いのが特徴です。高血圧の一番主な原因は食塩ですが、日本人は今でも欧米人に比し食塩を非常に多く摂り過ぎており、高血圧（140/90ミリ以上）は日本で最も多い病気で約4,000万人（厚生労働省・平成12年第5次循環器疾患基礎調査）もいます。脳卒中は血圧がそれ未満（120～139/80～89ミリ）でも、至適血圧域に比べると2倍位も発症危険率が高くなりますから、日本の脳卒中候補者は更に多いわけです。

脳卒中予防の為の「減塩」に関する社会運動は実は日本で始まり、死亡原因のトップだった脳卒中死をかなり減らしました。その実績が買われて減塩運動が世界に普及して行ったといういきさつがあります。今では外国の方が熱心で、特にイギリスでは政府が2010年に国民の食塩摂取量を“2025年までに1日3gにしよう”という目標を掲げました。日本では政府が皮肉にも同じ2010年に男1日9g未満、女1日7.5g未満という基準を発表した事と対照的です。国際的にはWASH (World Action on Salt and Health) という組織が減塩運動を進めており、減塩の重要性を啓発するために毎年「世界減塩週間」を設けていますが、その今年のテーマが“減塩で脳卒中を防ごう！(Reducing Salt - Preventing Stroke)”なのです。日本は今や産業だけでなく、減塩健康政策面でも逆転して、減塩後進国に陥ってしまっています。

食塩は動物の生存上必須不可欠の重要な栄養素の一つですが、自然食品には僅かしか含まれていないので、我々の体は摂取した貴重な塩分を体内でリサイクルする有り難い装置を元来、備えていて、それで十分に生存出来る様に作られています。それにもかかわらず余分の食塩が体内に入ってくるので、食塩のリサイクル装置が仇になり、特に食塩を貯め込み易くする体質（食塩感受性）の強い日本人では血圧が上がり易く、また脳の血管は特に食塩に弱いらしくて脳卒中を起し易いのです。脳卒中から仮に生還出来ても麻痺などの後遺症を残すことが多く、日本では寝たきりの原因の第1位（厚生労働省・平成14年国民生活基礎調査）を占めています。幸いにそこまで至らずとも、生涯に亙り生活の質（QOL：Quality of Life）が大きく低下し、不自由な人生を送らなければなりません。そんな哀れな人生を予防するためには、脳卒中の予防、その原因の高血圧の予防と治療、そして更にその源流の減塩が、つまりは最も重要な訳です。

食塩摂取量の当面の目標は、前述の日本の政府の基準とは大きく異なり、日本高血圧学会や国際高血圧学会を始め世界中で“1日6g未満”とされています。日本人は現在、1日約11gの食塩を摂っていますから、今の半分くらいを心掛ければ、脳卒中を始め、国民総医療費も激減する事が期待されるからです。日本も世界に呼応してこの機会に一層減塩を推進し、高血圧や脳卒中を格段に減らして、再び減塩先進国に戻りたいものです。皆様の一層のご理解と御協力をお願い申し上げる次第です。



世界減塩週間ポスター

- 1. 召集年月日 平成23年8月16日
- 1. 開催場所 栃木県総合文化センター1階メインホール（宇都宮市本町1-8）
- 1. 開催日時 平成23年10月21日午後1時40分
- 1. 総社員数 483名
- 1. 出席した社員数 327名（内訳／本人出席：62名 委任状出席：265名）

1. 議長及び議事録署名人選任の経過

定刻に司会者日和田邦男は開会を宣し、本日の社員通常総会は定款第28条の所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。定款第27条により、当総会議長として正会員の中から荒川規矩男が推薦され、満場一致をもって選任された。続いて当総会の議事録署名人の選任を諮ったところ、満場一致をもって猿田享男と藤田敏郎が指名された。

1. 議事の経過要領及び議案別決議の結果

第1号議案 第4期事業報告

議長は、本案について理事会で付議された旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく承認された。

第2号議案 第4期収支決算書、財産目録及び貸借対照表付議の件

議長は、本案についても理事会で付議された旨を述べ、今泉勉監事から適正に作成されていることが報告され、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく承認された。

第3号議案 第5期事業計画の件

議長は、本案についても理事会で付議された旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決決定した。

第4号議案 第5期収支予算書付議の件

議長は、本案についても理事会で付議された旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決決定した。

第5号議案 理事・監事任期満了に伴う改選の件

議長は、役員任期満了に伴い、第5期、第6期（平成23年9月1日～平成25年8月31日）の役員について、理事会において推薦された理事15名、監事2名を議場に諮ったところ、満場一致で異議なく以下の者が理事及び監事に選任された。

| | | | | | |
|----|-------|----|-------|----|-------|
| 理事 | 荒川規矩男 | 理事 | 上島 弘嗣 | 理事 | 柗山幸志郎 |
| 理事 | 荻原 俊男 | 理事 | 江藤 胤尚 | 理事 | 藤田 敏郎 |
| 理事 | 日和田邦男 | 理事 | 菊池健次郎 | 理事 | 松岡 博昭 |
| 理事 | 阿部 圭司 | 理事 | 猿田 享男 | | |
| 理事 | 飯村 攻 | 理事 | 島本 和明 | 監事 | 今泉 勉 |
| 理事 | 今井 潤 | 理事 | 瀧下 修一 | 監事 | 松浦 秀夫 |

ここで議長は、定款第14条第2項に基づく理事の互選により理事長に荒川規矩男、副理事長に荻原俊男の就任、そして役員に関する細則第1条第3項により理事長の指名で専務理事に日和田邦男の就任が報告され、満場一致で異議なく承認された。

第6号議案 報告事項の件

①議長より、北海道ブロック世話人が飯村攻から島本和明に変更され、これに伴い、北海道支部長も島本和明に変更されたことが報告された。

また、宮崎県支部長は江藤胤尚から北村和雄へ、長崎県支部長は矢野捷介から前村浩二へ変更されたことが報告された。

②議長より、認定NPO法人申請準備状況が報告された。

以上をもって社員総会の提出議案全ての審議及び報告を完了したので、議長は閉会を宣し、午後2時10分に散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において以下に署名押印する。

平成23年10月21日

特定非営利活動法人日本高血圧協会
社員総会において

議長 荒川規矩男
議事録署名人 猿田 享男
議事録署名人 藤田 敏郎

22年度事業報告書(平成22年9月1日から平成23年8月31日まで)

特定非営利活動法人 日本高血圧協会

1 事業の成果

第4期事業計画に従って、以下の事業を実施した。わが国には4千万人ともいわれる高血圧患者が存在するが、高血圧の予防と高血圧に基づく心臓・血管系の疾患を予防するために当協会の目的達成に向けて事業を展開した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|--|--|------------------|------------|------------------|---|---------|
| 高血圧及び高血圧性循環器合併症の予防と治療に関する知識の普及、啓発、高血圧患者の相談及び指導のための事業 | (1) 市民公開講座 全国各地で25回開催。会場アンケート調査によればいずれも90%以上の参加者が役にたったと記載されていた。支出金額の大部分は協賛企業が負担。 | 随時 | 全国各地 | 当日ボランティアも含め約300名 | 高血圧患者と一般市民約1万名 | 174 |
| | (2) 作製された家庭血圧測定記録手帳「私の健康血圧手帳」を高血圧患者2万6千人に配布した。 | 平成22年9月～平成23年8月中 | 法人事務所 | 20名 | 高血圧患者2万6千名 | 0 |
| 高血圧に関連する広報事業 | 当協会ホームページに高血圧に関するQ&A欄を掲載 | 通年 | ホームページ上 | 5名 | 高血圧患者と一般市民不特定多数 | 320 |
| | 入会案内・会報制作等 | 随時・年2回(3,8月) | 法人事務所 | 5名 | 高血圧患者と一般市民不特定多数 | 309 |
| 高血圧に関する調査研究事業 | 大学附属病院・国立病院及び全国基幹病院合計324病院へ食塩含有量調査を実施し、論文を作成した。 | 平成21年6月～平成22年10月 | 法人事務所 | 4名 | 該当病院の調査期間中の入院患者約20万名 | 19 |
| 日本高血圧学会などの関連学術団体との連絡協力事業 | (1) 呉市・広島市・大竹市とその周辺および和歌山市における「ヘルシーグルメダイエットレストラン」運動における減塩、低カロリーメニューの作成指導。高血圧学会との協力事業で支出は無。 | 通年 | 該当レストラン | 5名 | 該当レストランの来店者でヘルシーグルメを注文した一般市民。実数不詳。 | 0 |
| | (2) 「塩を減らそうプロジェクト」のイベントに参加・協力した | 通年 | 全国 | 4名 | 一般市民、不特定多数 | 0 |
| World Hypertension League(世界高血圧連盟)への協力事業 | (1) 5月17日世界高血圧デーに東京銀座のソニービル内とスクエアにて、「高血圧チャレンジ130/85」の啓発イベントをキャンペーンキャラクターの元サッカー日本代表の北澤豪さんとサッカー解説者の松木安太郎さんに参加してもらい、パフォーマンスを行った。他に地下鉄(東京：銀座線と丸ノ内線、大阪：御堂筋線)に高血圧啓発の社内広告を掲げた。支出は協賛企業が負担した。 | 平成23年5月17日～5月23日 | 東京銀座と東京・大阪 | 5名 | ソニービルに集まったプレス関係者約30名とソニースクエアに集まった通行人及び東京・大阪の地下鉄乗客 | 0 |
| | (2) 世界高血圧連盟への協力事業として分担金の支払い | 平成23年5月 | 法人事務所 | 1名 | 不詳 | 30 |

(法第28条第1項関係「前事業年度の収支計算書」)

平成22年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書 (平成22年9月1日から平成23年8月31日まで)

特定非営利活動法人 日本高血圧協会

| 科 目 | 金 額 (単位: 円) | | |
|-------------------------------|-------------|-----------|-----------|
| I 経常収入の部 | | | |
| 1 会費収入 | | | |
| 正会員 (個人会員) | 349,500 | | |
| 正会員 (団体会員) | 200,000 | | |
| 賛助会員 | 350,000 | 899,500 | |
| 2 寄付収入 | 1,845,100 | 1,845,100 | |
| 3 雑収入 | | | |
| 利息収入 | 176 | | |
| 雑収入 | 80 | 256 | |
| 経常収入合計 | | | 2,744,856 |
| II 経常支出の部 | | | |
| 1 事業費 | | | |
| 広報事業費 (HP サイト管理費) | 320,250 | | |
| 入会案内制作費 | 115,500 | | |
| 会報印刷/ 発送費 | 194,125 | | |
| 全国病院食アンケート論文別刷代 | 19,530 | | |
| 会議費 (市民公開講座及び高血圧の日イベント打合せ) | 174,820 | | |
| World Hypertension League 分担金 | 30,532 | 854,757 | |
| 2 管理費 | | | |
| 旅費・交通費 | 3,150 | | |
| 事務印刷・消耗品費 | 52,747 | | |
| 通信・運搬費 | 233,175 | | |
| 銀行・郵便局振替 手数料 | 67,180 | | |
| 租税公課 | 18,800 | | |
| 雑費 | 147,000 | 522,052 | |
| 経費支出合計 | | | 1,376,809 |
| 経費支出差額 | | | 1,368,047 |
| III その他資金収入の部 | | | 0 |
| IV その他資金支出の部 | | | 0 |
| 1 予備費 | | | 0 |
| その他資金支出合計 | | | 0 |
| 当期収支差額 | | | 1,368,047 |
| 前期繰越金 | | | 1,679,743 |
| 次期繰越収支差額 | | | 3,047,790 |

(法第28条第1項関係「前事業年度の財産目録」)

平成22年度会計財産目録 (平成23年8月31日現在)

特定非営利活動法人 日本高血圧協会

| 科 目 ・ 摘 要 | 金 額 (単位: 円) | | |
|------------------------|-------------|-----------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金預金 | | | |
| 現金 (現金手許有高) | 2,504 | | |
| 普通預金 (三菱東京 UFJ 銀行本郷支店) | 917,149 | | |
| 振替貯金 (ゆうちょ銀行) | 2,128,137 | | |
| 動資産合計 | | 3,047,790 | |
| 2 固定資産 | 0 | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 3,047,790 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | 0 | | |
| 流動負債合計 | | 0 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 0 | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 0 |
| 正味財産 | | | 3,047,790 |

市民公開講座・イベント (2011年9月～2012年2月)

| | 開催日 | イベント・公開講座 | 会場 | 協賛・共催 |
|--------|------------------------------------|--|--|---|
| ◆2011年 | | | | |
| 共催 | 2011年 9月11日(日) 13:00~15:00 | ウデをまくろう、ニッポン In 神岡 ～食塩を減らして高血圧を防ごう～ | 岐阜県飛騨市: 神岡町公民館 飛騨市神岡町東町378 | 【共催】 ノバルティスファーマ(株)/岐阜県医師会、飛騨市医師会/飛騨市 【後援】 岐阜大学医学部/岐阜大学医学部付属病院/ オムロンヘルスケア(株)/日本高血圧学会 |
| 共催 | 2011年 9月17日(土) 12:30~16:00 | 生活習慣病フォーラム 定員300名 ～先生に聞いてみよう! 日常から気をつける高血圧の予防と治療～ | 北海道函館市: 函館市芸術ホール 函館市五稜郭町37-8 | 【共催】 函館生活習慣病懇談会/函館市医師会/函館薬剤師会/ 函館病院薬剤師会/北海道栄養士会函館支部 【後援】 ファイザー(株)/北海道新聞函館支社/テルモ(株)/根本特殊化学(株) |
| 共催 | 2011年 9月25日(日) 12:30~16:00 | ウデをまくろう、ニッポン In 上田 | 長野県上田市: 上田文化会館ホール 長野県上田市材木町1-2-3 | 【共催】 ノバルティスファーマ(株) 【後援】 オムロンヘルスケア(株)/日本高血圧学会 【特別協力】 信濃毎日新聞社 |
| 共催 | 2011年 9月25日(日) 13:00~15:00 | 高血圧市民公開講座 対象:一般市民約350名 | 鳥取県米子市: 米子コンベンションセンター BIGSHIP 2階 国際会議室 鳥取県米子市末広町294 | 【共催】 ファイザー(株) 【特別後援】 新日本海新聞 |
| 後援 | 2011年 10月2日(日) 13:00~15:00 | 道民公開講座 ～身近な生活習慣病克服に向けて～ 司会:島本和明 | 北海道札幌市: 札幌コンベンションセンター1F 特別会議場 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 | 【共催】 北海道心臓協会/日本老年医学会北海道支部/ ノバルティスファーマ(株) 【後援】 北海道、北海道医師会/札幌医師会/札幌医科大学医師会/ 北海道新聞社 |
| 後援 | 2011年 10月2日(日) 13:00~15:00 | 道民公開講座 ～身近な生活習慣病克服に向けて～ 司会:大岩 均 | 北海道苫小牧市: 苫小牧プリンスホテル2F 瑞光の間 北海道苫小牧市双葉町3丁目2-8 | 【共催】 北海道心臓協会/日本老年医学会北海道支部/ ノバルティスファーマ(株) 【後援】 北海道、北海道医師会/苫小牧医師会 札幌医科大学医師会/北海道新聞社 |
| 後援 | 2011年 10月2日(日) 13:00~15:00 | 道民公開講座 ～身近な生活習慣病克服に向けて～ 司会:老松 寛 | 北海道函館市: 函館国際ホテル1F 陽春の間 函館市大手町5-10 | 【共催】 北海道心臓協会/日本老年医学会北海道支部/ ノバルティスファーマ(株) 【後援】 北海道、北海道医師会/函館医師会/札幌医科大学医師会/ 北海道新聞社 |
| 後援 | 2011年 10月9日(日) 13:00~15:30 | 市民公開講座 第4回心臓病市民公開講座 in 福山 「心不全からあなたと家族を守るために」 | 広島県福山市: ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ 福山市松浜町2丁目1番10号 | 【主催】 福山市医師会循環器病研究会 【共催】 (社)福山医師会/大日本住友製薬(株) 【後援】 (財)日本循環器管理研究協議会/ 広島県医師会糖尿病対策推進会議/(財)日本心臓財団 【協賛】 オムロンヘルスケア(株)/カルピス(株)/日本光電中四国(株)/ フクダ電子広島販売(株)/日立アロカメディカル(株)/ 東芝メディカルシステムズ(株) |
| 共催 | 2011年 10月10日(祝日) 13:00~16:00 | 市民公開講座 定員700名 「徳島大学病院フォーラム2011秋」 ・テーマ:血圧を下げて長生き | 徳島県徳島市: ホテルクレメント徳島 徳島市寺島本町西1-61 | 【主催】 徳島大学病院/NPO 法人医学研究・教育支援機構/ アステラス製薬(株)/日本ペーリンガーインゲルハイム(株)/ 徳島新聞社 【後援】 徳島県医師会/オムロンヘルスケア(株)/ 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「自然炎症」分野 |
| 共催 | 2011年 10月22日(土) | 市民公開講座 定員500名 「血圧を下げて元気で長生き」 | 栃木県宇都宮市: 栃木県総合文化センターサ ブホール(ホール棟1F) 宇都宮市本町1-8 | 【共催】 第34回日本高血圧学会総会 【後援】 栃木県/栃木県医師会/宇都宮市医師会/日本心臓財団/ 下野新聞社(株)とちぎテレビ/オムロンヘルスケア(株) 【協賛】 バイエル薬品(株) |
| 共催 | 2011年 10月29日(土) | 市民公開講座 定員150名 「高血圧からあなたと家族を守る」 | 三重県津市: 津市白山公民館 津市白山町川口897 | 【共催】 日本高血圧学会/三重大学医学部/津医師会/ 久居・一志地区医師会/第一三共(株)/オムロンヘルスケア(株)/ オムロンコーリン(株)/カルピス(株) |
| 共催 | 2011年 10月30日(日) 13:00~16:00 | ウデをまくろう、ニッポン In 北九州 「家族の皆(すべて)が健やかに」 ～高血圧の予防～ | 福岡県北九州市: 北九州芸術劇場 大ホール (リバーウォーク北九州6階) 北九州市小倉北区室町1丁 目1-1-11 | 【共催】 北九州市/ノバルティスファーマ(株) 【後援】 日本高血圧学会/北九州市医師会/北九州市薬剤師会/ 福岡県看護協会/福岡県栄養士会/福岡県作業療法協会/ オムロンヘルスケア(株) |
| 共催 | 2011年 10月30日(日) 14:00~16:00 | ウデをまくろう、ニッポン In 関 ～高血圧といかにつきあうか～ | 岐阜県関市: わかくさプラザ (関市生涯学習拠点施設) 関市若草通2丁目1番地 | 【共催】 岐阜県医師会/岐阜県栄養士会/武儀医師会/ ノバルティスファーマ(株) 【後援】 高血圧学会/岐阜大学医学部/岐阜大学医学部附属病院/ オムロンヘルスケア(株) |
| 共催 | 2011年 11月5日(土) 14:00~16:30 | 高血圧の専門医師による個別医療相談 第5回公開高血圧教室 | 仙台市青葉区: トラストシティ カンファラ ンス・仙台5F 仙台市青葉区一番町1-9-1 (仙台トラストタワー5階) | 【共催】 第一三共(株)/オムロンヘルスケア(株) 【後援】 宮城県医師会/仙台市医師会/ 宮城県腎臓病患者連絡協議会/仙台市/河北新報社 |
| 後援 | 2011年 11月12日(土) 13:30~15:00 | 第5回埼玉県内科医会市民公開講座 「大災害に負けない高血圧管理!」 | 埼玉県さいたま市: 埼玉県県民健康センター さいたま市浦和区仲町 3-5-1 | 【主催】 埼玉県内科医会 【共催】 埼玉県医師会/ノバルティスファーマ(株) 【後援】 埼玉県、さいたま市/浦和医師会、大宮医師会/ さいたま市与野医師会/岩槻医師会/読売新聞さいたま支局/ 埼玉新聞/オムロンヘルスケア(株) |
| 共催 | 2011年 11月13日(日) 13:30~16:00 | 市民公開講座 「第12回患者さんと御家族のための高血圧セミナー ～脳卒中や心臓病にならないために～」 | 愛知県名古屋市: 東建ホール・丸の内 名古屋市中区丸の内2-1-33 | 【主催】 患者と家族のための高血圧セミナー実行委員会 【共催】 中日新聞社 【後援】 名古屋市/テルモ(株) |
| 共催 | 2011年 11月19日(日) 14:00~15:30 | 高血圧 市民公開講座 定員500名 「塩の摂りすぎは、高血圧の主な原因 テーマ 塩を減らそう! ～高血圧は予防から～」 | 和歌山県和歌山市: 和歌山県立医科大学 講堂 和歌山市紀三井寺811-1 | 【共催】 MSD(株) 【後援】 和歌山県、和歌山市/和歌山県医師会/和歌山市医師会/ 和歌山県薬剤師会/和歌山市薬剤師会/和歌山県看護協会/ 和歌山県栄養士会 【協力】 ホテルアパローム紀の国/オムロンヘルスケア(株) |
| 共催 | 2011年 11月26日(土) 14:30~ | 高血圧市民公開講座 定員200名 | 大分県大分市: 大分県医師会館7階 大会議室 大分市大字駄原2892の1 | 【共催】 ファイザー(株) |
| 共催 | 2011年 12月3日(土) 13:30~ | 市民公開講座 高血圧 ウデをまくろう、三重! 「知っていますか? 自分の血圧」 | 三重県度会郡: 度会町中央公民館 度会郡度会町棚橋314 | 【共催】 ノバルティスファーマ(株) 【後援】 伊勢地区医師会/三重大学医学部/カルピス(株)/ オムロンコーリン(株)/オムロンヘルスケア(株) |
| 共催 | 2011年 12月4日(日) 13:30~16:30 | 第4回公開高血圧講座 「高血圧に負けない 上手なつきあい方」 | 青森県弘前市: 弘前大学医学部コミュニ ケーションセンター2階 弘前市本町40-1 | 【共催】 第一三共(株)/オムロンヘルスケア(株) 【後援】 弘前市医師会 |
| 後援 | 2011年 12月10日(土) 13:00~16:15 | Primary Aldosteronism 2011 ～ Now and Future ～ 対象:医療関係者 定員約120名 | 東京都千代田区: 東京国際フォーラム ホール D1 千代田区丸の内3丁目5番1号 | 【主催】 NHO ネットワーク共同研究 PHAS-J2研究班/ 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「副腎ホル モン産生異常に関する調査研究班」/ 日本内分泌学会:原発性アルドステロン症ガイドライン実施の実 態調査と普及に向けた標準化に関する検討委員会/他 【後援】 日本高血圧学会/日本内分泌外科学会/日本医師会 |
| 後援 | 2011年 12月10日(土) 17:00~19:00 | 1st Japan-U.S.Joint Symposium ～ Japan-US Paratraining for Pheochromocytoma ～ 第1回日米合同シンポジウム 「褐色細胞腫制圧と日米パートナーシップ」 対象:一般市民、患者・患者家族 定員100名 | 東京都千代田区: 東京国際フォーラム ホール D1 千代田区丸の内3丁目5番1号 | 【共催】 日本患者会「褐色細胞腫を考える会」/ 米国患者会「Pheo-Para-Trooper」 【後援】 日本高血圧学会/日本内分泌外科学会/日本医師会/ 日本高血圧学会/日本泌尿器科学会/アメリカ大使館/ハンガリー大使館 【開催協力】 国立病院機構 京都医療センター内分分泌代謝高血圧研究部/ 厚生労働省難治性疾患克服研究事業「褐色細胞腫の診断及び治療 法の推進に関する研究」班/他 |

北陸ブロックのたより

北陸ブロックは富山、石川、福井の3県から成り、高血圧協会の主導による高血圧市民講座ではこれまで本地区で2回開催され講師の交流も行われています。平成21年11月7日「血圧は健康長寿のパロメーター」(福井市、風の森ホール)、平成22年5月16日には金沢市、21世紀美術館(金沢市)で各々会場満員の市民が集いました。特に金沢会場では血圧と芸術のテーマで企画され、その模様はNHKによるTV報道でも紹介され茶の間でも関心を集めました(写真)。以下は金沢会場での取り組みを伝える高田重男先生(日本高血圧協会石川県支部長、金沢市民病院院長)と高桑浩先生からの寄稿です。



石川県で高血圧の啓蒙活動を行うイベント開催の提案があり、2009年12月に、金沢市立病院メタボリックシンドロームセンターのメンバー、金沢大学医学部保健学科の教職員、学生を交えての高血圧の日イベントのプロジェクトチームが立ち上がりました。市民の関心を引くためには、講演会だけではなく、他とは違うイベントを行うこと、ほとんど予算がない中で何が出来るかを考えました。当院では、病院、医療、患者さんと美術の在り方を考える取り組み、金沢美術工芸大学とのホスピタリティ・アート・プロジェクトが始まっていることより、血圧と芸術をヒントに、金沢21世紀美術館での芸術鑑賞と血圧との関係、さらには音楽を取り入れて、血圧について考えるという方向で話が進みました。月に1-2回の検討を行い、美術館の回廊式の建物を利用し、オープニングにアンサンブル金沢のチェロとピアノの演奏、来館者の血圧測定、血圧の不思議と題したクイズラリー、生活相談コーナーの設置、午後に医師、看護師、管理栄養士による講演会を行うこととなりました。当日、音楽を聴きながら血圧測定をするという風景をNHKのカメラは取材していました。血圧測定の実演やクイズラリーにも多くの方に参加して頂きました。測定した血圧が高く、すぐに生活相談コーナーに来られる方もいました。全面がガラス張り、中で何かイベント中であることがすぐにわかることもプラスでした。県外からの来館者も参加されていました。イベントの様子は当日夜のニュースウォッチ9で放送されました。



反響は海外からもあり、血圧への理解が多くの方に広まったようです。

事務局便り

今年の冬は厳しい寒さが長らく続きましたが、会報10がお手元に届く頃には桜の便りも聞ける時期ではないかと思えます。当協会の設立以来の懸案事項でありました認定NPO法人化の作業が終了し、1月26日に松山税務署経由国税庁長官宛に申請書類を提出いたしました。後は国税局の審査結果を待つのみです。ご承知のこととは存じますが、もし当協会が認定NPO法人として認可されますと、皆様から頂く寄附金が所得税や法人税控除が受けれます。全国各地で当協会が共催しています市民公開講座も回数が減少傾向にあります。認定NPO法人として当協会が認可された暁には、まだ一度も開催されていない県を中心に当協会主催の市民公開講座を開催していきたいと考えています。当協会の維持・発展のために皆様方のご理解と一層のご協力をお願い申し上げます。

専務理事 日和田 邦男

賛助会員リスト

当協会より改めて皆様に御礼申し上げます。(敬称略)

| | |
|-------------|---------------|
| バイエル薬品株式会社 | 医療法人泉和会 千代田病院 |
| エーザイ株式会社 | オムロンヘルスケア株式会社 |
| 仙台社会保険病院 | MSD株式会社 |
| 大日本住友製薬株式会社 | |

NPO法人日本高血圧協会

<http://www.ketsuatsu.net>
e-mail : office@ketsuatsu.net
f a x : 03-6801-9787